

東北福祉大学大学院

2026年公開講座

※本学大学院社会福祉学専攻の授業科目としても開講されます

地域共生社会に貢献する福祉施設等の公益活動のつくり方 ～地域課題の分析からロジックモデルの構築まで～

開催期間	2026年 7月～8月・12月 (平日夕方と土曜午後) ※詳細は裏面をご覧ください	会場	東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス 〒983-8511 仙台市宮城野区榴岡2-5-26
受講定員	30名 地域の福祉課題解決に関心を持つ方々 ※ 社会福祉法人などの福祉現場で働き、プラン検討や実践が可能な立場にある方 (すべての講義・演習を受講いただけることが前提です)		
受付期間	2026年7月23日(木曜日)17時まで ※ お申込み方法は裏面をご覧ください(専用サイトより)		
受講費用	一般 4,000円(5日間/資料代) ※宮城県経営協会・東北福祉大学大学院関係者は無料		



本講座の趣旨

2016年と2020年の社会福祉法改正により、社会福祉法人にはその高い公共性を活かした「地域における公益的な取り組み」が義務化されました。また、地域共生社会における「包括的支援体制」への参画も求められています。しかしどのような活動を展開すれば地域共生社会に貢献できる活動になるのか、悩まれている関係者も多いのではないのでしょうか。

そこで本公開講座では、以下の内容で学びを進めます。

- ①地域課題を把握・分析するワークを通して、地域課題の把握方法と、課題にマッチしたアイデアの生み出し方を学びます。
- ②地域課題に対応した効果的な活動プログラムを開発するための手法、「ロジックモデル」を学びます。
- ③参加者自身の経験や事例を元に、ロジックモデルを用いた公益活動の開発プロセスを体験します。

これらの学びを通じて、地域課題にマッチした効果的な公益活動を開発する力を身に着けることが、本講座の目的です。

講師と先進事例報告者

- ・大島 巖 (東北福祉大学副学長、教授)
- ・竹之内 章代 (東北福祉大学 教授)
- ・大石 剛史 (東北福祉大学 准教授)
- ・芳賀 恭司 (東北福祉大学 准教授)
- ・庄子 清典 (宮城県社会福祉法人経営者協議会 会長)
- ・野田 毅 (社会福祉法人東北福祉会せんだんの里 総合施設長)
- ・田中 伸弥 (社会福祉法人ライフの学校 理事長)

東北福祉大学大学院 総合福祉学研究科長

三浦 剛



今日、私たちは、孤立、引きこもり、ごみ屋敷問題など社会的排除による複雑な地域課題に直面しています。これらを解決し包摂社会をつくるために、私たち大学とこれまで日本の福祉を担ってきた実績のある社会福祉法人等が協働し、課題分析、解決の方策を具体的に考えていきたいと思いをします。

宮城県社会福祉法人 経営者協議会

会長 庄子 清典



私たちの地域には様々な課題が広がっており、支援を必要としている方が年々増えていますが、社会福祉法人はこの状況に応えていけるのでしょうか。社会福祉法人の実践が東北福祉大学の理論によって、分かりやすく、身近なものとして多くの方に受け入れられ、新たな実践に繋がっていくよう願っております。

共同主催：東北福祉大学、宮城県社会福祉法人経営者協議会

回	日程	テーマ	内 容	担当講師
1	7月30日 (木)		オリエンテーション	庄子 清典 竹之内 章代
		総論 1	地域における公益的な取組が実施される背景と社会的意義・役割、現在の取組み状況を共有する。	
	15:00よりオンラインデマンド配信となります。	総論 2	社会福祉法人等が取り組む有効な地域公益事業の実践理論を学ぶ。 ニーズ把握から打ち手の創出、計画の策定、モニタリングや検証等の方法論について学ぶ。	
2			実践事例報告 1	田中 伸弥
			社会福祉法人における公益事業の取り組み	
			社福)ライフの学校の取組み 「いのち」や「暮らし」に触れ、「生きる」ことを学ぶために、地域にひらかれた事業展開は、どのような効果を生み出しているのかなど、公益事業の期待や課題を紹介する。	
3			実践事例報告 2	野田 毅
			社会福祉法人における公益事業の取り組み	
			(社福)東北福祉会の取組み 「すべての人が一人の人間として尊重され個性が輝く共生の地域づくり」を目指し、「つながり続ける」事業展開は、どのようなカタチで福祉文化の醸成に寄与してきたのかなど、公益事業の期待や課題を紹介する。	
4	8月 26日 (水)		実践事例から何を学ぶか 1	竹之内 章代 大石剛史
	15:00 18:00	「プログラム開発と評価」の視点から実践事例の分析・検討と共有 ①	「プログラム開発と評価」の視点から実践事例報告に対する振り返りと、参加者の各自の実践との関連性の検討と共有を行う。	
	Zoomによるオンライン	実践事例から何を学ぶか 2	「プログラム開発と評価」の視点から実践事例報告に対する振り返りと、参加者の各自の実践との関連性の検討と共有を行う。	
5	9月 11日 (金)		演習 1	竹之内 章代 庄子 清典 野田 毅 田中 伸弥 大石 剛史 芳賀 恭司
	14:00 17:00	参加者の各自実践の「打ち手」の開発・創出、事業実施計画の策定	これまでの講座を踏まえ、各自組織における公益的取組について分析し、見直しと計画の策定を行う。	
	対面限定	演習 2	各自組織における「打ち手」と実施計画を報告し、ディスカッションを行う。 講座全体を振り返り、今後の課題とあり方について全体共有する。	
12月 11日 (金)		フォローアップ：実践報告会	各自組織で実施した成果や取組み状況を報告し、さらなる活動の発展と充実をめざす。	

お申込み方法

専用申込サイト <https://forms.gle/j78gcaQT1XHnQCtx8>
※上記サイト(もしくは右QRコード)より お名前・ご所属・連絡先メールアドレス等をご入力ください。

お問い合わせ

東北福祉大学 大学院プロジェクト推進チーム
Eメール in-kokai@tfu.ac.jp ※ お問い合わせはメールにてお願いいたします。



※ この公開講座は所属する社会福祉法人等の所属法人があり、福祉等現場での実践経験が求められます。福祉等現場で「打ち手」のプランを検討し、実施することが課題に求められますので、それらが可能な立場にあることをご理解下さい。

※ 会場の仙台駅東口キャンパスには専用駐車場がございません。公共交通機関でお越しください。